

「生き方探究・チャレンジ体験」に参加して

本学図書館では、平成26年11月4日(火)から7日(金)にかけて中学生が社会体験活動に取り組む「生き方探究・チャレンジ体験」に協力し、中学生5名を受け入れました。その中学生の体験記は、以下の通りです。(10頁に関連記事)



「チャレンジ体験で学んだこと」

今回、京都外国語大学の図書館で働かせていただきました。僕が思っていた図書館とは、少し違っていたところがあり驚かされることもたくさんありました。まず、人との協力がなければ、この仕事は成り立たないということです。本は何度も何度も人の作業が加えられ、読む人の手にわたります。その作業は、もちろん一人ではできないし、たくさんの方がいても、団結していないといけません。今回のチャレンジ体験で団結力の中の一つになれていれればいいです。

図書館での仕事で初日はすごく緊張して仕事もうまくいかない場面もあったのですが、職員の方にサポートしていただき、どんどん仕事がうまくいくようになっていきました。

最後の二日間では、「ムーミンの世界」をテーマに展示会をさせていただきました。本を並べ、お客さんが来られたら説明を付けながら見てもらうというもので最初はあまり上手にできなかったのですが、少しずつ慣れていき積極的に話しかけることができるようになりました。説明をしている中で、自分の話に興味を持ってもらうことに「やりがい」を感じました。やっぱり、やりがいを持たないと仕事というのは続けることができません。僕は、将来やりがいのある仕事につきたいです。そしてこの事に気づかせてくださった職員の皆様、この四日間本当にありがとうございました。

(Ryo. K.)

仕事があることを知りました。1日目は図書館を案内してもらい、図書館はとても広く、本も57万冊ほどあると聞きとても驚きました。その後で新しい本にハンコを押す作業や本を区分するためのラベルをはったり、区分した本を本棚にならべたりとたくさんの仕事をさせていただきました。3日目から、「ムーミンの世界」というテーマで展示会をさせていただきました。初めは2グループに分れて展示会をしていて、見ていると出来るかどうか不安だったけど、なんとか出来て良かったです。この展示会では本の説明をすることでムーミンのこともよく知ることが出来ました。それに大学生の方にもたくさん来ていただき良かったです。そしてこの4日間を振り返るといろいろな仕事に触れるチャンスがたくさんあり、とても楽しい4日間だったと思います。今回このチャレンジ体験で、京都外国語大学付属図書館に来て、体験させていただいたことを忘れずに将来に生かしていきます。最後に図書館の皆さんありがとうございました。

(Rik. K.)



「チャレンジ体験を終えて」

4日間チャレンジ体験で京都外国語大学付属図書館で仕事をさせていただき、初めて知った事や楽しかった事がたくさんあり、とても良い体験になったと思います。僕は今まで、図書館は本の貸し出しぐらいの仕事しか知りませんでした。ですが、貸し出し以外にも、収書や整理や保存などの仕事があり、それぞれ作業を手伝って本が図書館に並べられるまでたくさんの

「チャレンジ体験を経験した感想」

京都外国語大学付属図書館でチャレンジ体験をさせていただきありがとうございました。今回の体験を通して、私はたくさんの事を学ばせていただきました。

図書館の仕事は全く分からなかった私に職員の方々はとても丁寧に教えてくださいました。本の貸し出し